



三浦一族・源氏

～一族の夢～

三浦大介義明は、三浦一族の一番えらいんです。

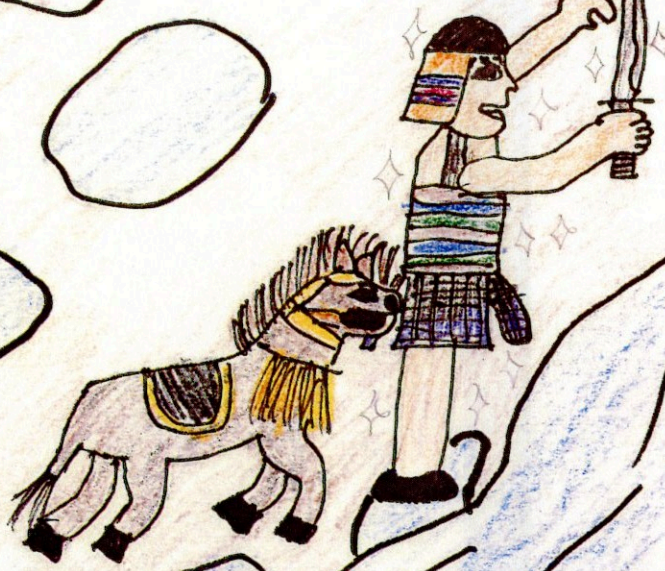
昔あるところに、源氏(チーム)と平氏(チーム)が戦っていました。

源氏がピンチになった時、三浦一族の人たちが源氏を助けに行きました。しかし、川の水が多くなっていてわたれませんでした。その時、!

平氏の仲間が来ました。三浦一族が「この川はわたれないよ」と言いました。しかたなくみんな帰って行きました。

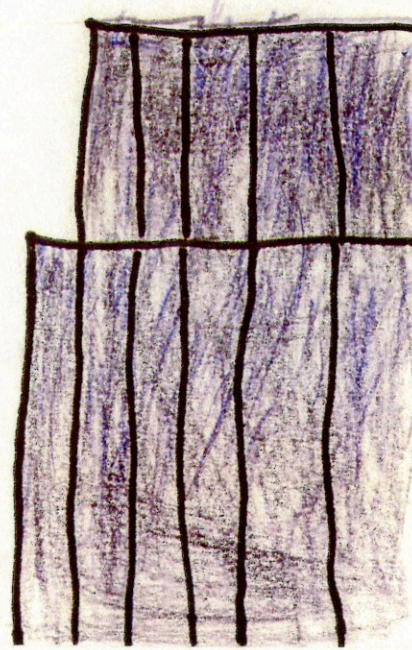


源氏



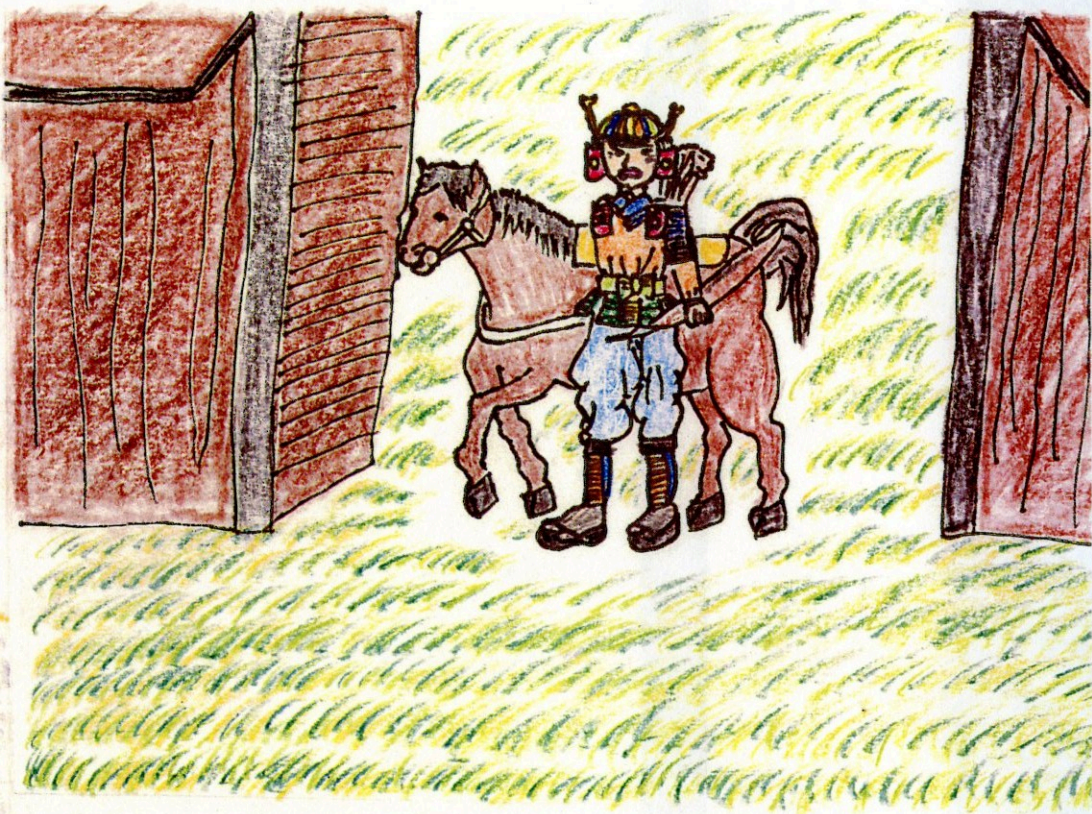


みんなが帰っている時、三浦氏の
仲間の和田義盛という人が来て、川の水が
増えている事を知らず、平氏の仲間を
おそてしまいました。
おこた平氏は、三浦氏がいる「衣笠城」へ
のりこみに行きました。





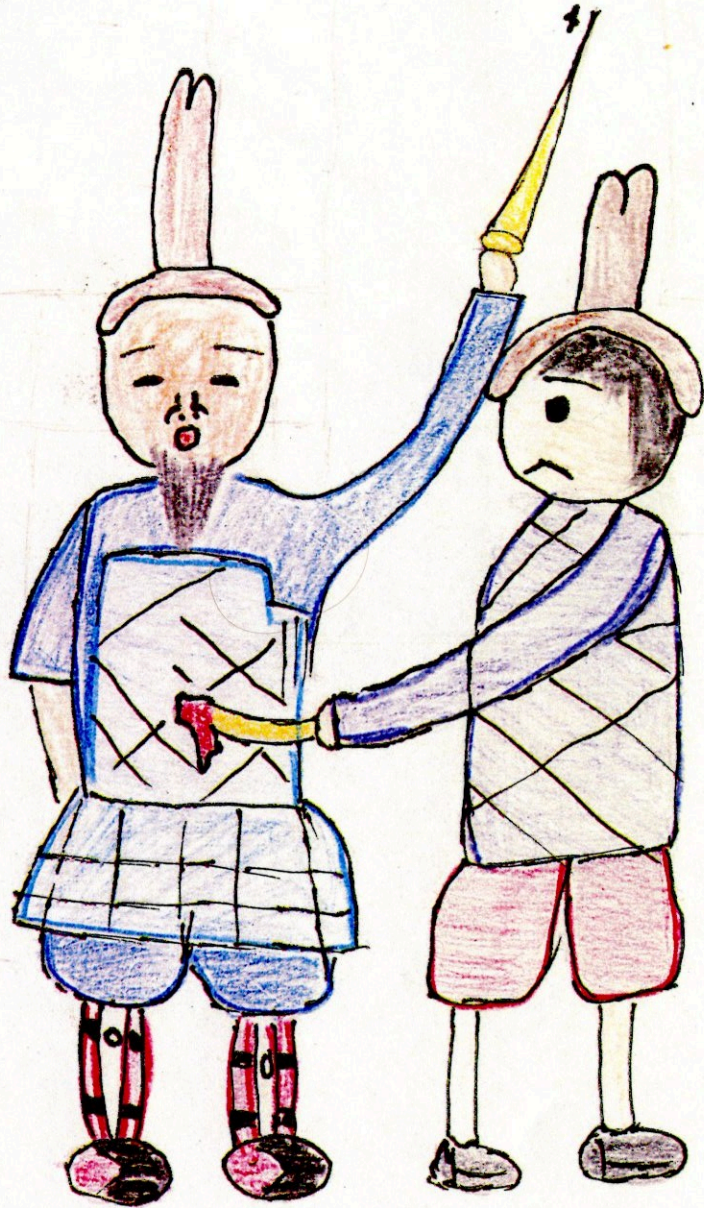
衣笠城では、三浦大介を
その子供たちが城を守て
いました。



その時！平氏が衣笠城を
おそったのです。

その戦いに勝てないと思った
三浦大介義明は……

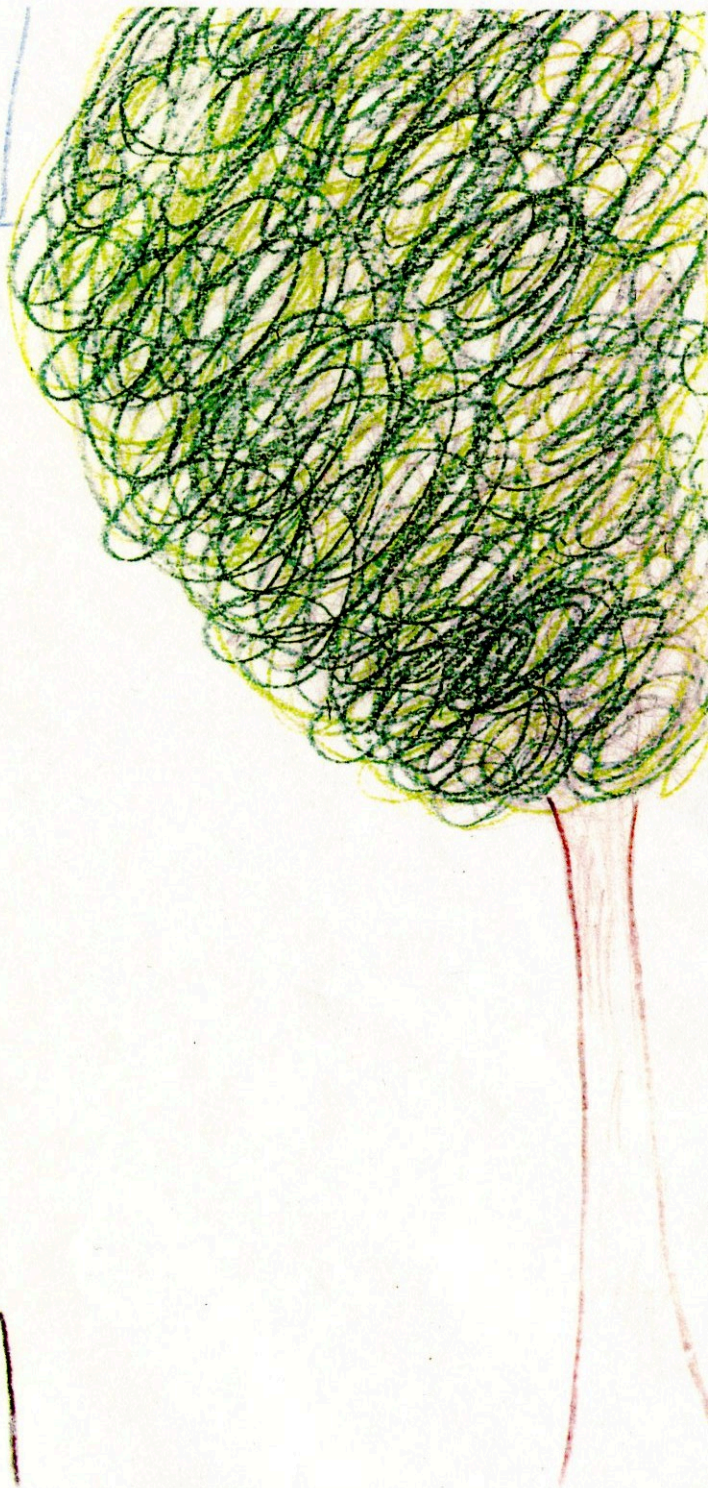
三浦大介義明は子供たちにこう
言いました。「ここはわしが守る。おまえ
たちは逃げろ」子供たちは 頼朝の
所へ逃げかて行きました。





三浦大介義明は、平氏によつて
この世を去つたのです。





三浦大介義明

衣笠合戦の時衣笠城が
馬に乗って逃げて曾祖父
のためおぢやぢの義継の墓
所のある田端寺が見えなくて
ころ入行きそこにおったとき
を松の根に腰をすゐることで
腹を切ったと伝えられていま
す。そのことがあったのでこの
松を腹切松とよぶようになった
りました。昔はこの松を切る
と血が出るといわれてたので
この村の人たちは松を今まで
大切にしてきました。

この本を読んで三浦一族のことを
分かっていただけましたか？

注目してもらいたい所は、義明が、子供
たちに言った言葉です。あと、
馬などをリアルにした所も見てほしいです。
何度も読んで歴史を勉強して下さい。

